

令和7年度第3回仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会議事要旨

日 時：令和8年3月9日（月）

13時00分～16時30分

場 所：青葉区役所7階第1・2会議室

出 席：丹治委員長、小川副委員長、荒井委員、
有坂委員、田口委員、千葉委員
※過半数の出席により委員会成立

1 開会

2 挨拶 仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会 委員長 丹治 重廣

3 議事

(1) 議事録署名人選定

◇ 小川副委員長が議事録署名人として選任

(2) 令和8年度青葉区まちづくり活動助成事業計画説明会

◇ 各団体から事業計画について説明

◇ 質疑応答・意見等

(以下、評価委員からの主な意見等)

1. ～「楽都仙台」を実感するまちに～ストリートピアノで広げる「人の輪」

(一般社団法人～東北を明るくする～仙台ストリートピアノ協会)

【意見】

- ・ 他イベントと連携して実施する際の経費分担や企業協賛の確保など、自立的な運営に向けた収入面の工夫についてさらに進めることを期待。
- ・ グッズ販売は、収益性等を踏まえつつ、販売計画の内容を精査し、より具体的に検討することが望まれる。
- ・ 参加者数や通行者数などの実績を整理し、協賛金の依頼時に活用できる基礎資料として蓄積していくことを期待。

【質問】

- ・ 助成終了後の収益確保の見通しについて。
- ・ ピアノの所有状況や、電子ピアノ使用による運搬経費の軽減の検討について。
- ・ 他のイベントとの連携状況や、ピアノレンタル料など費用分担の考え方について。

2. かけこみ未来塾

(かけこみ未来塾)

【意見】

- ・ こどもに関わる活動であるため、スタッフやボランティアによる守秘義務遵守の徹底や、緊急時対応など、団体として安全管理・危機管理の体制を整えることが重要。

【質問】

- ・ スタッフ・ボランティアへの研修体制、安全管理等の方法について。
- ・ 町内会、地域、行政、教育機関等への周知や連携の状況について。
- ・ 利用児童の人数や対象地域、活動時間、ボランティア配置の考え方について。
- ・ シンポジウム・セミナーの内容、実施回数、予算計上の考え方について。
- ・ 自己資金や会費、会場使用料など、収支予算の内容について。

3. 四ツ谷用水ガイド養成・入門講座

(特定非営利活動法人 水・環境ネット東北)

【質問】

- ・ 受講者・ガイド参加者の年齢構成について。
- ・ これまで団体が養成してきたガイドの人数について。
- ・ ガイド資料作成費の内訳や、印刷部数・配布対象について。

4. オレンジカフェ（認知症カフェ）の継続と見守り事業の拡大

(オレンジクラブ広瀬の杜)

【意見】

- ・ 見守り活動の普及には、町内会等の自治会組織をもっと巻き込んでいくことが大切。
- ・ 民生委員、社会福祉協議会に加え、地域包括支援センターとの連携も有効かと思われる。

【質問】

- ・ LINE を活用した安否確認システム説明会の参加者数について。
- ・ 安否確認システムによるメッセージの配信数、今後の登録者が増加した場合の費用負担の方法について。
- ・ 参加費・会費の扱い等、今後の収支の考え方について。

5. 台原地区の防災を考える（台原地区防災意識向上プロジェクト）

(台原地区の防災を考える会)

【意見】

- ・ 避難所運営や在宅避難含め、地域の防災意識向上や話し合いの場づくりを継続・発展させることは重要。
- ・ PTA や学校との連携が生まれているため、共催等による活動の検討を期待。

【質問】

- ・ 防災に関する初動キットの作成数、内容、紹介方法について。

- ・ 地域団体との連携の状況について。
- ・ 市が作成している避難所運営マニュアルとの関係性について。
- ・ 小・中学校と連携した防災啓発活動の内容について。

6. 「水辺のチカラ」 広瀬川を市民の「サードプレイス」へ再生し、経済的自立を両立させる 都市河川資源循環モデルの確立

(GARDEN of RIVER, SENDAI project)

【意見】

- ・ 刈り草の資源活用については、先行事例の調査や試算を行い、実現可能性を確認しながら進めることを期待。

【質問】

- ・ 他の助成金を含めた収支計画について。
- ・ 講師謝礼等の内容について。
- ・ 関連グッズの内容や、商品化・販売に向けた計画について。
- ・ 刈り草の資源活用や、販売した場合の売上の試算について。

7. お宮町「まち歩き」プロジェクト

(「お宮町」まちづくり協議会)

【質問】

- ・ まち歩きマップの配布方法、配布対象や印刷費用等について。

8. 杜の都のクラフトフェア 2026

(杜の都のクラフトフェア実行委員会)

【意見】

- ・ クラフトまち散歩は、助成終了後を見据え、参加費の徴収や必要経費のスリム化を検討することが望まれる。
- ・ 過年度に作成した冊子等とツアーをうまく連動させ、参加者の増加や有料でも参加したいと思える内容づくりにつなげられることを期待。

【質問】

- ・ クラフトまち散歩の委託部分に関する経費やその内容、今後の費用負担の考え方について。
- ・ 助成終了後の予算計画、今後の出店料や会場費上昇への対応について。

9. 錦ヶ丘ママのにこにこマルシェ

(錦ヶ丘ママのにこにこマルシェ実行委員会)

【意見】

- ・ 来場者の増加要因を把握し、周辺施設や天文台等への来客層もターゲットとすることで、地域全体の回遊性を高めていくことを期待。
- ・ 企業協賛の拡大などにより、助成終了後の自主財源確保を進めることを期待。

【質問】

- ・エコバッグの配布方法や販売収入の有無について。
- ・運営における実行委員の負担感や課題の有無について。
- ・来場きっかけの把握、SNS やチラシの効果、周辺施設との連携について。
- ・今後の出店料設定、企業協賛の拡大、運営資金確保の考え方について。

**10. 生活困窮者自立支援を目的としたコミュニケーションワークショップとスタッフ勉強会
及び就労支援歌声交流会**

(特定非営利活動法人グッドニュース・プロジェクト)

【意見】

- ・他団体との連携強化等により、賛同者・協力者数が増え、団体の活動がさらに広まっていくと良いと思う。
- ・団体が行う便利屋事業のように自主財源を確保できるような事業や互助的な仕組みなど、支援対象者の就労機会と団体の活動資金が確保できる仕組みづくりを検討することを期待。

【質問】

- ・助成終了後の活動継続に向けた財源確保の考え方について。
- ・各種支援機関等との連携について。
- ・スタッフ勉強会やワークショップの実施場所について。
- ・便利屋事業による就労支援・収入確保や、互助会的な仕組みの可能性について。

(3) その他

4 閉会